

## 危機管理について

### 1. これまでの取り組み

区では、平成 17 年 1 月に危機管理組織を総務課に設け、危機事象が発生した際に直ちに対策本部を立ち上げるなど、各部との連携を図りながら、一元的な情報管理、速やかな対応策の決定等を行ってきた。

また、危機管理対策ガイドライン等の作成や職員研修の実施、緊急連絡網の整備など平時より危機管理体制の充実を図っている。

### 2. 主な対処事象

#### (1) 新型インフルエンザ等

平成 21 年に新型インフルエンザの蔓延のため、新型インフルエンザ対策本部を設置。

#### (2) 電力供給不足による節電対策

平成 23 年 3 月の東日本大震災により生じた大規模な電力供給不足に対応するため、品川区電力節減緊急対策本部を設置。

#### (3) 不発弾処理

平成 23 年 9 月に南品川 4 丁目で発見された不発弾（信管あり）処理のため、品川区不発弾対策会議を設置。

#### (4) 大規模災害被災地に対する支援

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震における被災区市町村の支援のため、熊本地震被災地支援対策本部を設置。

#### (5) その他

- ①小雨による取水制限の周知、節水の啓発（平成 25 年、平成 28 年）
- ②区内で凶悪事件が発生した際の広報（地域活動課生活安全担当と連携）
- ③ヒアリの周知、啓発（環境課と連携）

### 3. 新型コロナウイルス感染症への対応

令和 2 年 2 月 3 日に「品川区新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、適宜本部会議を開催するなど全庁的な調整・連携を図ってきた。区立学校の臨時休業をはじめ、区事業の休止や区主催イベントの延期または中止を決定するなど、感染拡大防止策を講じてきた。